

長野県経済

研究員レポート

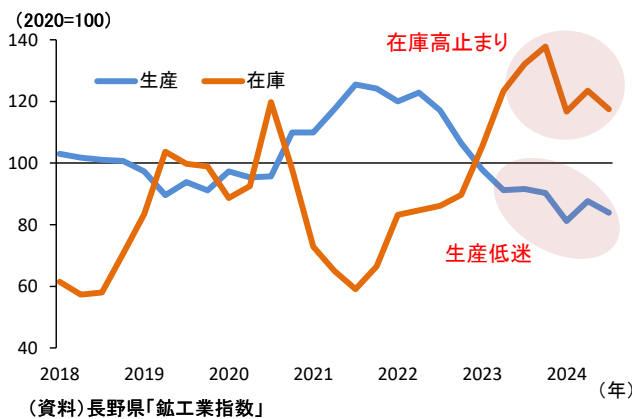
盛り上がり欠ける電子部品・デバイス産業 ～生成 AI 関連の需要は一部に集中～

研究員 伊東 聡史 Tel:026-224-0508 Mail:satoshi.itou@neri.or.jp

1. 低迷する長野県の電子部品・デバイス

■ 長野県の電子部品・デバイスの生産が低迷している。長野県が毎月公表している鉱工業指数をみると、電子部品・デバイスの生産指数は 2021 年をピークに右肩下がり減少している。一方、生産の動きに反比例するように、在庫指数は 21 年を底に 23 年まで右肩上がりで増加し続け、ピークは過ぎたものの足元高止まりの状態が続いている。長野県鉱工業生産指数のウェイトを業種別で並べてみると、「電子部品・デバイス」は「汎用・生産用・業務用機械」に次ぐ 2 番目のウェイトを持つ長野県の主要産業であり、足元の低迷は気がかりな状況だ。

▽電子部品・デバイスの鉱工業指数推移(長野県)



▽生産指数ウェイト(長野県)

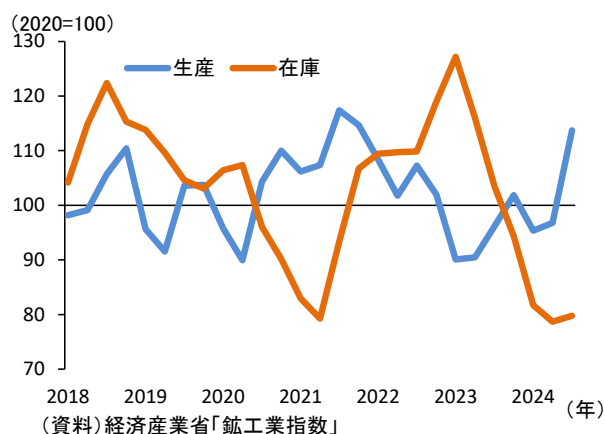
業種	生産指数 ウェイト
汎用・生産用・業務用機械工業	2,348.5
電子部品・デバイス工業	1,391.8
食料品工業	1,364.0
情報通信機械工業	1,249.5
電気機械工業	703.7
輸送機械工業	645.9
金属製品工業	444.3
化学工業	422.3
窯業・土石製品工業	381.6
プラスチック製品工業	331.6
その他	716.8

(資料)長野県「鉱工業指数」

2. 集積回路(IC)の好調さに牽引される全国

■ 全国の電子部品・デバイスの鉱工業指数を眺めると様相が異なる。全国は、23 年を底に増加傾向にあり足元も高い伸びとなっている。一方、在庫指数は減少を続けており、22 年から 23 年にかけて大きく積み上がった在庫の調整が進んでいる。このように長野県と全国の電子部品・デバイスの動きに乖離が生じているわけだが、その理由は電子部品・デバイスを構成する品目ウェイトの違いによるところが大きい。品目のウェイトでみると全国は集積回路(IC)が 213.8 と最も大きく、全体(585.5)の約 36%を占める。一方、長野県の集積回路は 25.2 と全体(1,391.8)の僅か 1.8%を占めるに過ぎない。

▽電子部品・デバイスの鉱工業指数推移(全国)



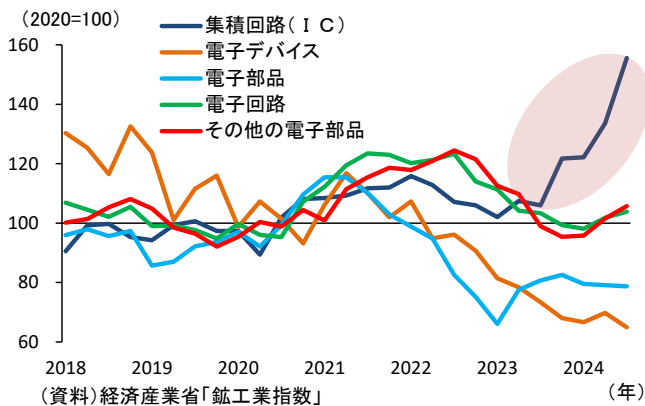
▽電子部品・デバイスの品目ウェイト

電子部品・デバイス品目 ウェイト		
品目	長野	全国
電子部品・デバイス工業	1,391.8	585.0
電子回路	873.6	73.5
電子部品	219.2	135.6
電子デバイス	215.2	102.3
集積回路	25.2	213.8
その他の電子部品	58.6	59.8

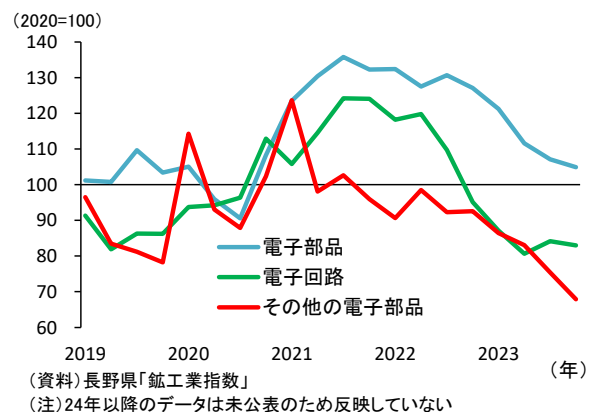
(資料)長野県「鉱工業指数」、経済産業省「鉱工業指数」

■ 全国の電子部品・デバイスの品目ごとの推移をみると、足元では集積回路(IC)の伸びが他の品目と比較して突出して高くなっている。最も大きなウェイトを占める集積回路の好調さが、全国の電子部品・デバイス全体の堅調さに繋がっている状況とみることができる。一方、集積回路以外の品目については減少傾向、良くて横ばい圏内といったところで、力強さに欠ける。これは長野県も同様の傾向を示しており、最もウェイトが高い電子回路(873.6)と次いでウェイトの高い電子部品(219.2)の推移をみても低調な状況が続いている。集積回路の好調さを享受できる構造にあるかどうかは電子部品・デバイス全体の差を生んでいるといえよう。

▽電子部品・デバイスの品目別指数推移(全国)



▽電子部品・デバイスの品目別推移(長野県)

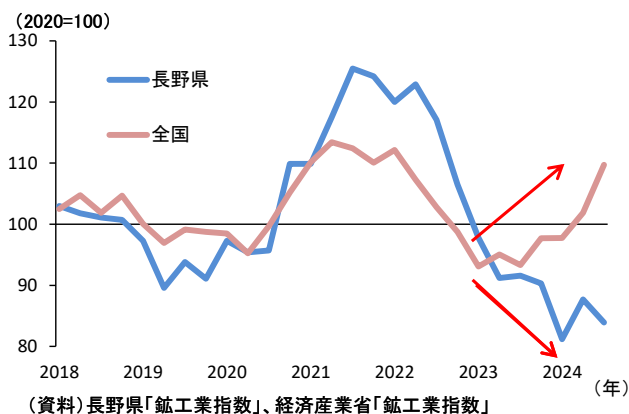


3. 生成 AI 関連の需要増加の恩恵を受けない長野県

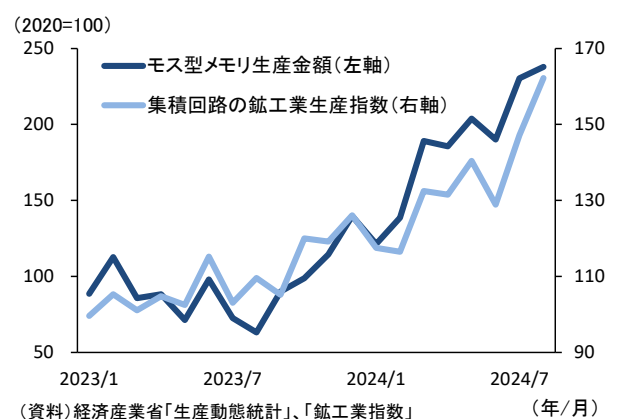
■ ここ数年の状況を振り返ると、コロナ禍における巣ごもり需要の増加により 20 年後半から 22 年にかけて電子部品・デバイスは好調だった。この時期はパソコンやスマートフォン、大型家電など汎用的な電子機器の買い替え需要が高まり、長野県・全国ともに高い伸びを示している。特に長野県は、全国に比べ鉱工業生産指数の山が高くなっており、電子部品・デバイスの製造を手掛ける企業が多数集積している長野県が全国に比して好調だった状況がうかがえる。

■ その後、外出制限の緩和とともに巣ごもり需要が減少したことに加え、中国や欧州など海外経済の減速に伴う外需の縮小から長野県の電子部品・デバイスは低調に推移した。一方、高価格・高機能な集積回路を必要とする生成 AI 関連への需要が増加したことから、全国の電子部品・デバイスは 23 年以降増加傾向に転じた。したがって、足元の全国と長野県の相反する動きをみると、生成 AI 需要の増加は長野県の電子部品・デバイス産業に恩恵を与えていることにはなっていない様だ。

▽電子部品・デバイスの鉱工業生産指数推移



▽メモリ生産金額と集積回路の生産指数推移



以上

【Disclaimer】

本資料は、情報提供を目的として作成したもので、投資勧誘を目的として作成されたもの又は金融商品取引法に基づく書類ではありません。当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当研究所は責任を負いません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は執筆者が信ずるに足ると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。当資料の内容に関する一切の権利は当研究所にあります。本資料を投資の目的に使用したり、承認なく複製又は第三者への開示等を行うことを厳に禁じます。本資料で示された意見は執筆者に属し、必ずしも当研究所およびグループ会社の見解を示すものではありません。